

高知大学 病院 ニュース

〔編集〕

高知大学病院ニュース

編集委員会

委員長 森信 繁

〔発行人〕

高知大学医学部附属病院

病院長 横山 彰仁

「附属病院の現況と展望」

病院長 横山 彰仁

はじめに

医学部附属病院では、患者さんの利便性を増し、きめ細かな対応が可能となるよう、主な部門をセンター化してまいりました。昨年度の乳腺、脊椎脊髄、脳卒中の各センターに続いて、今年度は新たに糖尿病、リウマチ、画像下治療(IVR)の各センターを開設しています。また、スムーズな入院に向けて、入院サポートセンターも新設し、今後、退院も管理できる入・退院センターを目指しています。さらに、新たな専門医制度に対応して病理診断科も設置し、高知県で不足している病理医が増えるよう願っています。本稿では再開発や専門医制度などに向けた附属病院の展望について述べたいと思います。

再開発を円滑に行うために

ご承知のように、これまで目指してきた30年度末に終了する計画であった再開発は立ち止まっている状態です。しかしながら、もちろん質の高い医療環境を実現するために、再開発の完遂は着実に進めていかねばなりません。建築業界の環境によって中断しているわけですが、時間は過ぎても、このままじっとしては再開発が実現しない可能性もあります。

なぜなら、残念ながら本院は、新設大学附属病院のなかで入院患者数も手術数も決して多くないためです。人数割で勘案すれば低くはない数字であり、また他の新設大学や県内の他の病院に比べて、複数の診療科で高難度の手術・診療の比率が高く、さらに高齢者をより多く診ている現状がありますが、評価においてはそういう事情を考慮してはくれません。したがって、本院の切迫した課題は有為な人材の増員と発掘で、それによって、より多くの患者さんに高度医療を届けることです。さらには、大学人のミッションである教育・研究も病院・医学部の総体として向上させる必要があります。そのためには、やはり、附属病院の若く有能な専攻医を増加させる必要があるわけです。

新専門医制度では 大学病院が重要な役割を果たす

新制度は1年遅れで、2016年卒の医師から始まることとなりましたが、新たな仕組みにおいては、少なくとも地方では大学病院が基幹施設として重要となります。本院は症例の幅広さ・数や制度の根幹である他施設研修実施の点で、中心的役割を求められています。そこで、支援体制を拡充

するために、従来の卒前と卒後研修の支援室を改組して専攻医支援も含めた医療人育成支援センターを開設しました。19すべての基本領域プログラムの基幹施設として、地域の病院と共同で未来の医療を担う専門医養成において格段の取り組みを行う予定です。

専攻医の修了要件は各プログラムでほぼ同じですが、修了者の能力には差が出てきます。その原因はプログラムの多様性も一つの因子で、たとえば沖縄のプログラムは離島での単独診療を目的にしたもので救急に力を入れており、レベルの違いはあるとはいえ、それなりの診療が可能になるプログラムだと思います。しかし、同じプログラムでも多様な修了者ができてきます。専攻医のプロとしての気概(やる気)と資質+努力といった個人的事項こそが結果を決める最大の因子だと思います。専攻医となる皆さんには、どのプログラムに入ってもその点を忘れないでいただきたいと思います。

研究拠点としての大学病院

先端医療の開発は医学部附属病院に課せられた使命の一つです。本院でも新規医療の審査制度が開始され、実に多くの新規技術が審査されてきています。また、次世代医療創造センターを中心に、トランスレーショナルリサーチの拡充を図ることも必須の病院機能と考えており、これについては、最新機器の導入、いわゆるダビンチ手術の保険適応拡大や、臍帯血以外の新たな再生医療開発も視野にいられています。基礎と臨床をつなぐ人材も獲得できたことから、今後、病院全体のさらなる研究の活性化につなげたいと思います。若い医師を引き付けるような研究成果も出てきており、今後も執印研究担当理事とも相談して、こうした研究拡充への取り組みを強化したいと考えています。

おわりに

新専門医制度の実施が遅れた理由は、地方の医師が減少する可能性があるという点でしたが、それほど若い医師が都会でしか研修ができないと考えているとは思えませんし、医師が溢れている6大都市圏に憧れているとも思えません。むしろ、学生・研修医諸君の将来の本学附属病院での活躍に大いに期待しています。10年後を想像し、創造する「現在」でなければならないと、以前述べましたように、診療のみならず、研究・教育に対しても、少しでもより良い病院になるよう皆さんと努力しています。今後どうぞよろしくお祈りします。

がん治療センターの取り組みについて

がん治療センター センター長 小林 道也

本 院は、平成19年8月24日に都道府県がん診療連携拠点病院に指定され、がん治療センターが設置されました。当初は外来化学療法室、緩和ケアチーム、地域医療連携室などががん治療センターに少しだけ足を突っ込み、半分以上はセンター外の組織でした。“コンクリート”も人もなく、もがき苦しんできた結果、少しずつ組織作りをし、新たな取り組みをしてまいりました。平成19年118号の病院ニュースのなかの「こはすくん」25号に当時のことを書かせていただいております。そのときの文章では 1)がんプロが始まったこと、2)各科横断的ながんのカンファレンスを開催したいこと、3)臨床治験を行うこと、4)高知県をはじめとする行政や患者会などのかかわり、についてご紹介しています。

また、平成22年132号では、外来化学療法室、緩和ケアチーム…などの取り組みについてご説明いたしました。

本稿ではがん治療センターで行っている市民公開講座についてご説明します。高知大学の各診療科はもちろん個別に市民公開講座を開催していると思いますが、がん治療センターでは“がん”をテーマに各科の協力をいただきながら平成23年11月26日から市民公開講座を開催しています。以下に本年9月に開催した第11回までの日時、テーマ、演者とタイトル、参加人数などを一覧にしています。通常行われる市民公開講座のように、単に“〇〇がんについて”というようなものではなく、各回ごとにテーマを設けました。そのテーマも、がんにかかった時に受けることのできるサービス、予防、がん検診、ロボット手術、など拠点病院ならではの特色を持ったものを企画しています。

また、全国的にも早い時期から若年者(中学生)へのがん教育を検討しました。学校は1年の予定が年度初めに大体決まっ

ていること、教育委員会となかなか調整がきかないこと、など新しいことを始めるにあたって乗り越えなければならないことが数多くありましたが、事務の方々の努力もあり、平成26年3月18日に追手前高校で若年者に対する初めての出前講座を開催することができました。それ以降、年に1回は中学・高校での出前講座を、また年に1-2回は通常の市民公開講座を続けています。

中学生に話をするにあたっては、各種がんについての話よりも、がんの予防、早期発見を目指してタバコとがん、子宮頸がんについて講演をしていただいています。若年者に教育することにより、高齢者以上に予防効果が見込めること、また家庭内で話題にしてもらうことで若年者からご両親、ご祖父母への“教育効果”を期待しているものです。現在は各学校に単発でお話を持っていき開催していますが、高知県には教育委員会との橋渡しをしていただけるようお願いしているところですが、なかなか進まないのではと待っているより行動すべきと考え各学校とお話ししながら進めているのが現状です。

それ以外にも私自身が高校や自治体に出かけて行って講演を行っています。

都道府県がん診療連携拠点病院の役割として、がん治療センターという部署の仕事だけでなく、行政、学会、がんプロなどと有機的に連携しています。なかなか線引きができないため、毎年業務量が増加していますが、事務の皆さんのご協力をいただきながら少ない人員で何とか努力しているところです。

日ごろ市民公開講座の運営にご協力いただいています各診療科の先生方、また事務の方々に紙面をお借りして感謝申し上げます。

第1回～第11回 市民公開講座について

回	日時	場所	テーマ	演題・演者	参加人数
1	H23.11.26(土) 14:00～16:00	コンフォートホテル 高知駅前 土佐の間	「もし、あなたが“がん”と言われたら」 -がん拠点病院で受けられるサービス-	◆がんと言われたときに知っておくべきこと がん治療センター副部長 / 岡本 健【医師】 ◆「緩和ケア」ってなんですか? 緩和ケアチーム / 小笠原 麻紀【看護師】 ◆抗がん剤治療との付き合い方 -外来通院を中心に- 外来化学療法室 / 塩田 麻子【看護師】 ◆がん患者さんが利用できる社会資源 地域医療連携室 / 高橋 武史【医療ソーシャルワーカー】	68
2	H24.6.16(土) 14:00～16:30	高新文化ホール 東館7階	「がんにならないために」 -本当に予防は可能?-」	◆高知県のがん罹患状況について 診療情報管理室 / 井沖 浩美 ◆栄養とがんについて 栄養管理部 / 伊與木 美保 ◆タバコとがんについて 総合診療部 / 北村 聡子 ◆感染症とがんについて 微生物学 / 大畑 雅典 ◆放射線被ばくとがんについて 放射線医学 / 久保田 敬	66
3	H25.1.12(土) 14:00～16:30	高知商工会館 4階(光の間)	がん検診 -身近なことからはじめよう-	◆肺がん 血液・呼吸器内科学 / 窪田 哲也 ◆年齢に応じた乳癌検診 ~現状と将来~ 外科学(外科1) / 杉本 健樹 ◆胃がんについて ~早期発見と早期治療~ 消化器内科学 / 水田 洋 ◆大腸がん検診について がん治療センター / 岡本 健	45
4	H25.9.7(土) 10:00～16:30	イオンモール高知 南コート	がん検診 -身近なことからはじめようPart2-	◆「肝臓がんの予防・早期発見」 消化器内科 / 高橋 昌也 ◆「前立腺がん検診について」 手術部 / 山崎 一郎 ◆「子宮がん検診について」 産科婦人科 / 國見 祐輔 ◆「高知家の家族 みんなで受けようがん検診」 高知県健康政策部健康対策課長 / 福永 一郎	413
5	H26.3.18(火) 13:30～14:55	高知追手前高等学校 芸術ホール	「高校生へのがんに関する出前教育」	◆「タバコとがん ~タバコの罠~」 総合診療部 / 北村 聡子 ◆「子宮がん検診について」 産科婦人科 / 國見 祐輔	273 (1年生)
6	H26.9.13(土) 14:00～16:30	高知会館 飛鳥の間	がんの診断 -もしも検診にひっかかったら-	◆「女性にも増加する肺がん ~早見つけて上手に治療するための最新の個別化診断・治療技術~」 外科2 呼吸器外科部門 / 穴山 貴嗣 ◆「乳がん検診の良しところ悪いところ ~高知県の10年間のマンモグラフィ検診を振り返る~」 外科1 乳腺・内分泌外科部門 / 杉本 健樹 ◆「胃がんの検診 ~早期発見と早期治療のために~」 内科 胃腸内科部門 / 水田 洋 ◆「大腸がん ~わかりやすい検査から治療への流れ~」 がん治療センター兼低侵襲手術教育トレーニングセンター / 岡本 健	112
7	H27.3.11(水) 11:00～12:15	岡豊高等学校 体育館	「高校生へのがんに関する出前教育」	◆「タバコとがん ~タバコの罠~」 総合診療部 / 北村 聡子 ◆「子宮がん検診について」 産科婦人科 / 國見 祐輔	589 (1,2年生)
8	H27.9.5(土) 14:00～16:30	高知会館 飛鳥の間	がんの診断 -もしも検診にひっかかったら-	◆「肝臓がんは予防できる! ~がんになりやすい肝臓の見つけ方、なりにくい肝臓のつくり方~」 消化器内科 / 廣瀬 享 ◆「前立腺がんの診断 ~早期発見で完治を目指そう~」 泌尿器科 / 廣田 真吾 ◆「子宮頸がん ~いま知ってほしいこと~」 産科婦人科 / 牛若 昂志 ◆「がんの画像診断」 放射線科 / 山西 伴明	52
9	H27.12.9(土) 14:00～16:30	ちより街テラス ちよテラホール	手術支援ロボット“ダヴィンチ”を用いた最先端手術	◆「消化器外科領域におけるロボット支援手術」 がん治療センター / 小林 道也 ◆「前立腺癌・腎癌・膀胱癌に対するロボット支援手術」 泌尿器科 / 井上 啓史 ◆「婦人科領域におけるロボット支援手術」 周産母子センター / 泉谷 知明	55
10	H28.3.7(月) 14:25～15:00	南国市立北陵中学校 図書室	「中学生へのがんに関する出前教育」	◆「タバコとがん ~タバコの罠~」 総合診療部 / 北村 聡子 ◆「子宮がん検診について」 産科婦人科 / 國見 祐輔	85 (3年生)
11	H28.9.3(土) 14:00～16:30	ちより街テラス ちよテラホール	どっちをとる!? タバコと健康	◆「肺がん ~禁煙が日本を救う~」 血液・呼吸器内科 / 窪田 哲也 ◆「喫煙・飲酒とのどのがん」 耳鼻咽喉科 / 吉田 真夏 ◆「タバコを吸う人、そばにいる人、みなさん尿検査していますか?」 泌尿器科 / 井上 啓史 ◆「知っていますか?タバコの正体」 総合診療部 / 北村 聡子	52

初期臨床研修医紹介 医科 Part 1



- ①氏名
- ②出身地
- ③趣味・特技
- ④将来の進路や関心のある分野
- ⑤高知大学医学部附属病院での研修で「ここがいい!」と思えるところ
- ⑥今後の抱負を一言

今年も、元気のいい研修医たちが集まりました。高知を気に入って高知での研修を希望した若手です。学生時代にそのきっかけを与えて下さった高知大学医学部附属病院および関連病院の皆さまに、この場をお借りしてお礼申し上げます。それぞれのプロフィールを紹介しましょう。すでに進む道を決めている者もあれば、新たな領域に興味が生えてくる者もあると思います。引き続き、皆さまからの温かいご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

医療人育成支援センター長 渡橋 和政



- ①西村 祐希 (にしむら ゆうき)
- ②兵庫県たつの市
- ③スポーツ、日々の生活に小さな幸せを見つけること
- ④教育
- ⑤教育熱心な先生が多い
- ⑥猪突猛進



- ①森本 暢 (もりもと とおる)
- ②高知県高知市
- ③スポーツ全般
- ④外科系
- ⑤自分のペースで研修ができる
- ⑥そろそろ進路を考えないといけないと思っています。



- ①根本 玲 (ねもと れい)
- ②岡山県岡山市
- ③よさこいとサーフィンに夢中です
- ④リハビリテーション、救急・地域医療
- ⑤教育面が充実していると思います。
- ⑥聴覚に障害がありますが、スタッフや患者さんとお話する事が好きです。明るく、周りから信頼されるように精いっぱい頑張ります。



- ①梶山 泰平 (かじやま たいへい)
- ②大阪府堺市
- ③ヨーヨー、カーディストリ
- ④外科系
- ⑤内科、外科を問わず「考える」ことを求められ、しっかりと指導を受けられる。
- ⑥のんびりし過ぎて遅れを取ってしまっているので、残りの研修期間を密度高く勤めたいと思います。ご指導・ご鞭撻宜しくお願い致します。



- ①赤川 美貴 (あかがわ みき)
- ②高知県南国市
- ③子育て、カメラ鑑賞
- ④まだはっきりとは決まっていますが、内科系
- ⑤最先端の治療が学べる。高知大学卒業生にとっては、一度顔を合わせたことのある先生方と仕事ができる。
- ⑥皆さんの足を引っ張らぬよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



- ①石田 信子 (いしだ のぶこ)
- ②高知県高知市
- ③オーケストラ演奏(コントラバス)
- ④はっきりとは決まっていますが、手技の多い科に進みたいです。
- ⑤同期が多いことや、学生時代にボリクリでお世話になった先生と働けるところ
- ⑥自分のすべきことをきちんと積み重ねて、スタッフからも患者さんからも信頼される医師になります!

初期臨床研修医紹介 医科 Part 1



- ①氏名
- ②出身地
- ③趣味・特技
- ④将来の進路や関心のある分野
- ⑤高知大学医学部附属病院での研修で「ここがいい!」と思うところ
- ⑥今後の抱負を一言



- ①岩田 英樹(いわた ひでき)
- ②愛知県
- ④麻酔科
- ⑤患者さんとじっくり向き合い、病態について勉強する時間があることが多いです。
- ⑥進路を見据えて、系統的かつ網羅的な知識を身に着けたいです。



- ①大黒 太陽(おおぐろ たいよう)
- ②高知県高知市
- ③音楽、読書、空手
- ④産婦人科
- ⑤色々な疾患、手技、治療がみられるところ。
- ⑥大事な2年間なのでしっかりと力をつけられるよう頑張ります。

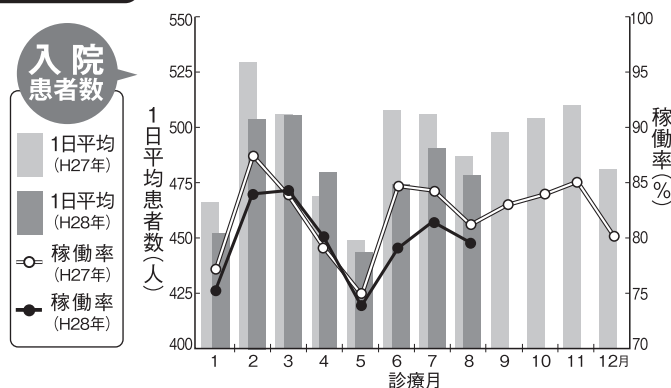
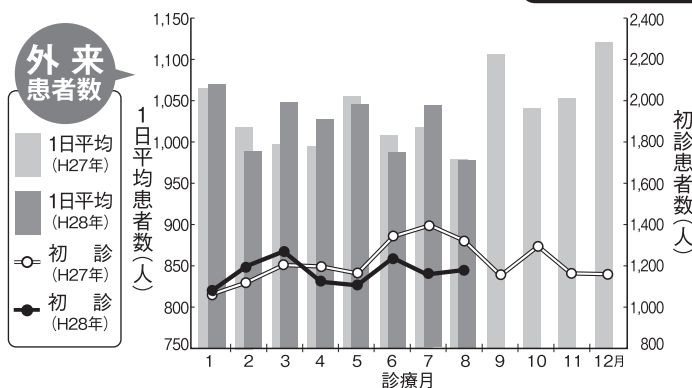


- ①葛目 雅弓(くずめ まゆ)
- ②高知県高知市
- ③イラスト、チェロ
- ④細かい手技のできる分野
- ⑤時間をかけて丁寧に指導していただけるところ
- ⑥視野を広く持つ



- ①島田 知加子(しまだ ちかこ)
- ②岡山県倉敷市
- ③猫の世話、料理
- ④高知で働きたいと思っています。
- ⑤研修会が多く、学習環境が整っている。サポートも充実していて問題解決が早い。出張も行かせていただけるので研修へのモチベーションが維持できます。
- ⑥未熟でご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、一生懸命頑張りたいと思います。

診療状況



編集後記

本年度より病院ニュース編集委員の末席に加えていただきました、西山と申します。これまで本誌を真面目に読んでおりませんでした。これからは心を入れ替えて本誌を有意義な内容にしていくよう努力したいと思います。さて今回は、本院の今後の取り組みについて横山病院長より言葉をいただき、また、がん治療センターの活動について小林センター長より解説していただきました。加えて、本年度本院にて研修を開始した研修医の先生方に自己紹介をしていただきました。

巷では四半世紀ぶりに某球団が優勝したと少々騒ぎがありましたが、まさに研修医の皆さんは某球団が前回優勝した頃に産声を上げた世代になるかと思えます。今後の本院の発展には、彼ら若い世代の成長が不可欠ですが、また同時に、某球団のように教育を担当するベテラン世代の奮起も必要と思われれます。

本誌で紹介したい内容があれば、お気軽に御連絡下さい。今後ともよろしくお願ひ致します。

(文責：西山 充)